

# Sun Java™ System Application Server Platform Edition 8

J2EE™ 1.4対応のJava / Webサービス・プラットフォーム



## Key feature highlights

ライセンス費用を必要とせず、有償でサポートを受けることも可能な、JSP™(JavaServer Pages™) / Java Servlet、EJB™(Enterprise JavaBeans™) コンポーネント・ベースのアプリケーションをサポートする、J2EE™(Java™ 2 Platform, Enterprise Edition) 1.4テクノロジー対応のアプリケーション・サーバ

相互運用性を実現するWS-I Basic Profile 1.0のサポートを含む、包括的なWebサービスの提供  
J2EEへの厳格な準拠により、J2EEテクノロジー・アプリケーションやアプリケーション・プラットフォームへの投資を保護しTCOを削減

優れたパフォーマンスのJMS(Java Message Service)プロバイダーを含む、エンタープライズ・クラスのアプリケーション・サービスやWebサービスを提供する拡張性と信頼性に優れたJ2EEアプリケーション・プラットフォーム

JAXM(Java API for XML Messaging) / JAXP(Java API for XML Processing) / JAXR(Java API for XML Registries) / JAX-RPC(Java API for XML-based RPC) / SOAP / WSDLなど、Webサービス基盤を包括的に提供

エンタープライズ・アプリケーションへの双方向接続機能を提供するJ2EE Connector Architecture v1.5をサポート

標準のJ2EE Deployment APIをサポートするため、使いたい総合開発環境(IDE)を利用して、アプリケーション・サーバへの配備が可能

標準化されたJ2EEマネージメントAPIが、管理性を向上

J2EEアプリケーションの強力なGUI製作を支援するJavaServer™ Faces 1.0 APIを搭載

拡張SPI(Service Provider Interface)をベースに実現する、Java Webサービスとの統合

NetBeans™ツールやBorland JBuilderなどの開発ツールとの連携により、開発者に生産性の高い環境を提供

J2EE(Java 2 Platform, Enterprise Edition) 1.4対応のSun Java System Application Serverは、エンタープライズ・クラスのアプリケーション・サービスやWebサービスを実現する基盤を提供します。

優れた性能の業界標準に準拠したコンポーネントをベースに、モジュール化された斬新なアーキテクチャを提供します。今後、Sun Java System Application Server Platform Edition 8は、NetBeans / Sun Java Studio Standard / Sun Java Studio Enterprise / Sun Java Studio Creator製品の標準コンテナになります。

Sun Java System Application Serverには3つのエディションがあり、それぞれが特定の機能を異なる用途やサービスレベルに提供できるよう設計されています

- Sun Java System Application Server Platform Editionはツールとの連携により開発者の生産性を向上し、迅速なアプリケーションの開発 / 配備を支援できるよう設計されています。メモリやディスク容量の消費が少ないJ2EEプラットフォームは、幅広い用途のアプリケーションやサードパーティ・システムやアプリケーション組み込みに最適で、Sun Java System Application Server Platform Edition 8はJ2EE 1.4テクノロジーを幅広い市場へ定着させます。開発と配備に際してのライセンス費用は一切発生せず、さらに有償でサポートを受けることも可能です。

- Sun Java System Application Server Standard Editionは、リモートからのシステム管理や監視 / 負荷分散ソフトウェア、そして大規模なドメイン管理を低コストで実現する企業 / 組織全体の実装に適したJ2EEプラットフォームで、優れたパフォーマンスと運用管理機能を提供します。

- Sun Java System Application Server Enterprise Editionは、J2EEアプリケーションにクラスタリングや高可用性実現のための最新のテクノロジーが追加されています。特許であるAlways-Onテクノロジーをベースとしたこれらの技術が、企業やサービス・プロバイダーのミッションクリティカルなアプリケーションに、極めて高いQoSと負荷分散パフォーマンスを提供します。

経済性に優れたアプリケーション・サーバ

Sun Java System Application Server Platform Edition 8は製品ライセンス費用を発生させることなく、エンタープライズ・クラスのアプリケーション / サービスの開発と配備が可能なJ2EE 1.4テクノロジーに対応し、標準化されたアプリケーション・サーバを企業に提供します。メモリやディスク容量の消費が少なく、現在Sunが定める条項により、開発と配備のライセンス費用を必要としないSun Java System Application Server Platform Edition 8は、J2EEアプリケーションの開発と配布に最適です。

Sun Java System Application Serverは、コスト削減と競争力の優位性実現のために既存アプリケーションを統合することが可能な、業界標準をベースとした最先端のテクノロジーを提供することで、あらゆる分野のWebやエンタープライズ・クラスのアプリケーション要件に応えることのできる包括的なWebサービス・プラットフォームを提供します。

Sun Java System Application Serverは他の商用アプリケーション・サーバと異なり、J2EE仕様を定めたJ2EE 1.4 Reference Implementationソースコードを基に構築されています。Sun Java System Application Server 8の開発には、J2EE 1.4 Reference Implementationと同じチームが携わりました。これによりJ2EE仕様への最も厳格な準拠、そしてWS-I Basic ProfileのサポートによるWebサービスの相互運用性を実現しています。企業やアプリケーション・ベンダーは、一社の独占技術に縛られるリスクを回避し、仕様に準拠したアプリケーション・サーバ間であればコストのかかる改変を行わず優れた移植性を実現する、J2EE仕様に焦点を絞ったアプローチによる恩恵を受けることが可能になります。

Sun Java System Application Server製品群にはPlatform Editionの他に、更に優れたパフォーマンス / 負荷分散 / クラスタリング / モニタリング機能を提供するStandard EditionとEnterprise Editionがあります。Sun Java System Application Serverは、Javaテクノロジーが実現する「Write Once, Run Anywhere™」のシンプル性と最適化されたWebサービスを提供することで、企業やサービス・プロバイダーの選択肢の幅を最大限に広げます。企業やサービス・プロバイダーのTCO削減に貢献すると共に、市場の要求に応える迅速な製品出荷や生産性の向上を実現します。

**Webサービスに適したプラットフォームを提供**  
Sun Java System Application Serverは、優れたパフォーマンス / 拡張性 / 信頼性を提供するJ2EEアプリケーション・プラットフォームを統合した、Java Web Services Packです。Java Web Services Packには、JAXM( Java API for XML Messaging ) / JAXP( Java API for XML Processing ) / JAXR( Java API for XML Registries ) / JAX-RPC( Java API for XML-based RPC )が含まれています。Sun Java System Application ServerはSOAPおよびWSDLの仕様をサポートし、Webサービス基盤とWS-I Basic Profileの包括的なサポートを提供することで、相互運用性に優れたWebサービスを実現します。強力なSPIの採用したSun Java System Application Serverは、新たなWebサービス機能が登場しても、アプリケーション・サーバをアップグレードせずに容易に統合可能です。

企業やサービス・プロバイダーはSun Java System Application Serverが実現するWebサービスの機能を利用することで、顧客やパートナーへ自社のサービスを提供するだけでなく、異なるアプリケーション間の統合までが可能になります。

Sun Java System Application Serverは、メッセージ・ベースの統合を実現する高性能なJMS ( Java Message Service )プロバイダーです。J2EE Connector Architectureをサポートし、エンタープライズ・クラスのアプリケーションへの優れた接続性の確立や、実績あるSun Java System Directory Serverや業界をリードするJ2EEテクノロジー・ベースのSun Java System Portal Serverとの容易な統合を実現します。製品群を網羅する包括的な統合機能が、今日のアプリケーション・サービスやWebサービスに求められている高可用性 / 拡張性 / 信頼性 / セキュリティの提供を実現します。

**迅速なアプリケーション開発と市場への提供**  
Sun Java System Application Server 8はアプリケーション開発環境との統合利用により、開発者の生産性を向上し、市場の要望へ迅速に対応でき

ます。J2EE 1.4仕様に準拠し、メモリやディスク容量の消費が少なく速やかに起動すると共にサーバの容易なインストールを実現します。この環境が、複数のプロジェクトやプラットフォーム間で、アプリケーションとコンポーネントの再利用を可能にし、Webサービスの相互運用性を生み出します。この、標準化されたJ2EE Deployment API群が、エンジニアの使い慣れた統合開発環境(IDE: Integrated Development Environments)を開発プラットフォームとした配備を可能にします。迅速で強化されたアプリケーション配備や動的な構成、開発者の生産性が、企業の速やかで向上したソリューション対応を実現します。

#### 包括的なハイパフォーマンスを提供

Sun Java System Application Serverは企業の既存アプリケーションとの接続性を確保するために必要な、アプリケーション・ロジックからプレゼンテーション・レイヤに至るあらゆる範囲のWebやエンタープライズ・クラスのアプリケーション要件へ包括的に応える、優れたパフォーマンスを提供します。Sun Java System Application Serverは、世界最速とされるSun Java System Web ServerをHTTPエンジンとして提供します。また、業界をリードするJMSパフォーマンスの、Sun Java System Message Queue製品のJMSエンジンを提供します。

Sun Java System Application Serverには、O/R (object-to-relational)マッピングを実現するCMP (container-managed persistence)エンジンが搭載されており、サードパーティ製の負荷分散ソリューションを利用した、Java Servletコンポーネントのインテリジェントな負荷分散を実現します。Sun Java System Application Serverは、優れたパフォーマンスのJ2EE Connector Architectureに準拠した接続を可能にする、J2EE Connector Architecture向けサービス提供インタフェースを用意することで、企業アプリケーションやデータへの速やかで同期のとれたアクセスを実現します。

#### 提供するコア・サービス

- J2EE 1.4 Compatibility Test Suiteによって検証された準拠性
- JAXM / JAXP / JAXR / JAX-RPCを含むApache Tomcat 4.0 Web Container Integrated Web Services
- 既存アプリケーションを新たなWebサービスとして提供可能にする、SOAPとWSDLを統合
- J2EE Connector Architectureサービス提供インタフェース
- 強力なWebアプリケーション・ユーザ・インタフェース提供のための、JavaServer Faces API群とランタイム
- 優れたパフォーマンスのJMS (Java Message Service) プロバイダー
- 各RDBMSベンダーから提供されているデータベース・サービスに対し、2フェーズ・コミット可能なJTS (Java Transaction Service) のサポート
- Oracle® / Sybase / IBM / Microsoft SQL Server へのデータベース接続性
- SHTML (server-side HTML) やChunked Encoding など、動的コンテンツ生成時のパフォーマンスの向上
- SSLv2 / SSLv3 / TLS (Transport Layer Security) 1.0 / X.509証明書 / PKCS #11 / FIPS-140 / 168-bit step-up certificatesなど、幅広いセキュリティ仕様をサポート
- 1つのインスタンスで複数のWebサイトをホスティング可能な仮想サーバ
- O/R (object-to-relational)マッピングをサポートする、高性能なCMP (container-managed persistence)エンジン
- コマンドライン・インタフェースからだけでなくWebベースでも可能な、容易なシステム管理
- サードパーティ製の負荷分散ソリューションを利用した、Java Servletコンポーネントのインテリジェントな負荷分散

#### J2EE Development Environment

- 新しく標準化されたJ2EE Deployment APIのサポート
- J2EE Connector Architecture準拠のコネクタを実装
- Borland JBuilderなど、サードパーティ製の統合開発環境のサポート

今、すべてをシンプルに変える

Sunは、オープンで互換性のあるお求めやすいソフトウェア・システムを各種取り揃え、IT基盤の効率的な稼働を支援しています。各ソフトウェア製品はUNIX®とJavaをベースにシステムとして統合され、高いセキュリティと可用性、下位互換性を備えています。Sunのソフトウェア・ポートフォリオには、Solaris™( SPARC®版およびx86版 )とLinux、ダイナミックなユーティリティ・コンピューティングに最適なN1™プラットフォーム、そしてSun Java Systemが用意されています。

Sun Java Systemは、企業が必要とするソフトウェアの購入 / 開発 / 管理をこれまでになくシンプルにする画期的なアプローチで、豊富な実績と広範なソフトウェア・ポートフォリオを持ち、Sun以外には真似のできないユニークな戦略です。Sun Java Systemを利用すれば、ネットワーク・サービスや基幹ビジネス・アプリケーションを迅速に立ち上げ、コストも従来以上に軽減することが可能です。余裕をもってイノベーションや競争、売上増強に専念できます。

## Sun Microsystems, Inc. について

1982年の創業以来、Sunはお客様の声にお応えし、お客様のビジネスの成長支援、コスト削減への貢献、企業競争力の増進に努めてまいりました。Sunは業界でもっとも堅牢なハードウェア / ソフトウェア / サービス、そしてコンピュータ・ネットワークの源流となるテクノロジーを提供しています。

## プラットフォームとシステム要件

### オペレーティングシステム

- Solaris 9以降、Solaris 8以降の各リリース ( SPARC版 )
- Solaris 9以降の各リリース ( x86版 )
- Sun Java Desktop System
- Microsoft Windows 2000, XP, Server 2003
- Red Hat Enterprise Linux 2.1, 3.0

### サポートしているデータベース・サーバ

- Oracle8i, Oracle9i
- Microsoft SQL Server 2000
- Sybase 12.5
- IBM DB2 8.1
- Pointbase 4.8( Embedded, Micro, UniSync )

## J2EE 1.4互換

- J2SE™( Java 2 Platform, Standard Edition )1.4 / JAF( Java Activation Framework )1.0 / JAXM( Java API for XML Messaging )1.0 / JAXP( Java API for XML Processing )1.2 / JAXR( Java API for XML Registries )1.0 / JAX-RPC( Java API for XML-based RPC )1.1 / JAAS( Java Authentication and Authorization Service )1.0 / Java ACC( Java Authorization Contract for Containers )1.0 / JavaMail™ 1.2 / JNDI( Java Naming and Directory Interface™ )1.2 / Java Servlet 2.4 / JTA( Java Transaction API )1.0 / J2EE Application Deployment 1.0 / J2EE Connector Architecture 1.5 / J2EE Management 1.0 / JDBC™ 2.0 / JMS 1.1 / JSP 2.0 / EJB 2.1 / WS-I Basic Profile 1.0

### 詳細

Sun Java System Application Server Platform Edition 8の詳細については、[sun.co.jp/software/](http://sun.co.jp/software/)をご覧ください。

システム要件など、最新の詳細情報は、リリースノート [docs.sun.com/](http://docs.sun.com/) をご覧ください。

## サン・マイクロシステムズ株式会社

本社	〒158-8633 東京都世田谷区用賀4-10-1	SBSタワー	電話(03)5717 5000(代)
山王オフィス	〒100-6160 東京都千代田区永田町2-11-1	山王パークタワー12F	電話(03)4232 2400(代)
中部支社	〒460-0002 名古屋市中区丸の内2 14 4	エグゼ丸の内507	電話(052)203 1233(代)
大阪支社	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-8-15	野村不動産大阪ビル5F	電話(06)6265 5700(代)
九州支社	〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22	福岡SRPセンタービル3F 308	電話(092)834 0100(代)
つくば営業所	〒305-0032 茨城県つくば市竹園1-6-1	つくば三井ビルディング11F	電話(0298)51 2210(代)
豊田営業所	〒471-0833 愛知県豊田市山之手5-73-1	山之手ビル7F	電話(0565)25 5700(代)
ホームページ	<a href="http://sun.co.jp/">http://sun.co.jp/</a>		

© 2004 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. Sun, Sun Microsystems, サンのロゴマーク, Java Coffee Cupのロゴマーク, N1, Solaris, JSP, JavaServer Pages, EJB, Enterprise JavaBeans, J2EE, Java 2 Platform, Enterprise Edition, J2SE, JavaServer, NetBeans, Write Once, Run Anywhere, Java Naming and Directory Interface, JavaMail, JDBCは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。すべてのSPARC商標は、米国SPARC International, Inc.のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC商標がついた製品は、米国Sun Microsystems, Inc.が開発したアーキテクチャに基づくものです。UNIXは、X/Open Company Ltd.が独占的にライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。ORACLEは米国Oracle Corporationの登録商標です。資料の内容は、お断りなしに変更することもありますのでご了承ください。

